



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

2025.6.20

教育委員会だより No.167

愛村心（＝尊心）を育む 天栄村！



発行：天栄村教育委員会

特別支援教育研修会

6月11日（水）、村内幼・小・中学校の特別支援教育に中心になって取り組んでいる先生方と支援員のみなさんを対象に、牧本小学校長 須田 恵津子先生を講師としてお招きし研修会を行いました。

講話では「共に学ぶ授業づくりのポイントと子どもへのかかわり方」をテーマとして、支援や配慮を必要とする子どもたちへのサポート方法や、多様性を認め合う学級づくり、校内支援体制の大切さ等についてご指導・ご助言をいただきました。

その後、グループ協議を行い、各幼稚園、小中学校の取組について情報共有を行いました。

インクルーシブ（共生）教育を推進していくために、今後も特別支援教育への理解を深められるように研修を実施していきます。

授業研究会

天栄村立幼稚園・小中学校
つなぐ教育

6月12日（木）、牧本小学校において、本村の各幼稚園、各小中学校の連携を強めるために実施している「つなぐ教育」に係る授業研究会が行われました。

福島大学教授 宗形潤子先生と県中教育事務所指導主事 加藤政記先生を講師として迎え、3年生の算数科と5年生の国語科の授業を実施しました。村内の幼稚園・小中学校の先生も多く参加しました。

3年生の算数科の授業は、1mものさしを2本使い、教室入り口の高さを図る場面から、ものさし同士が重なる部分に着目して長さの求め方を考える学習でした。5年生の国語科の授業では、「自分がもしペットとして飼うなら、犬かいいか猫がいいか」というテーマで子どもたちがグループ討論を行いました。

事後研究会では、2名の先生方から今後のつなぐ教育の進め方等について指導助言をいただきました。全体会では、子どもの自己肯定感を育むために教員に必要な視点について宗形先生の講演が行われました。

今後も村内の幼稚園・小中学校の教育の充実に向けて、つなぐ教育をさらに推進してまいります。



学校運営協議会（地域学校協働本部）開催

5月29日（木）、第1回の学校運営協議会を開催しました。今年度の組織と活動内容を説明し、各小中学校の取り組み内容と要望について協議しました。

今年度は9月に委員による学校訪問を予定しています。



プールでの学習について



今年度は広戸小、大里小、牧本小が鏡石町民プールすいすいと矢吹町温水プールにおいて合同水泳学習を行いました。なお、湯本小、天栄中は今年度も自校のプールで水泳学習を実施します。

【令和7度教科書展示会開催中】

文化の森てんえいにて、令和7年度教科書展示会を開催しています。展示しているのは小・中学校の教科書になります。

保護者、地域の方も閲覧することができますのでご来館ください。

期間：6／13～6／26

時間：午前9時～午後4時30分
※最終日は午後4時まで



生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。こうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。



○アウトドアチャレンジ2025

村内の小学4年生から6年生を対象に、自然の中で野外活動を行う中で、得意分野や潜在能力を養うことを目的とし、5月31日（土）から6月1日（日）の1泊2日で「アウトドアチャレンジ」を福島県郡山自然の家で実施しました。

生憎の天気ではありましたが、参加した22名の子どもたちは、グループ毎にかまどを使った野外炊飯

やキャンドルファイヤー、子どもたちだけのロッジ宿泊、ウォークラリーなど、様々な体験プログラムにおいて、それぞれ助け合いながら協力することで、1つずつ課題を解決し、コミュニケーションの重要性やチームワークのスキル向上に役立ちました。一人一人が身体的にも精神的にも社会的な成長を促す貴重な機会となりました。



○村の歴史や名物の紹介「天栄かるた」を使った地域交流

6月4日（水）、大里小学校放課後子ども教室にて、「天栄かるた」を使った世代間交流が行われました。このかるたは、村パソコン愛好会の皆さんのが、村の子どもたちに郷土愛を育んでほしいとの思いで制作されたもので、絵札には村の歴史や観光地など手書きのイラストや写真で表現され、読み札も会員の皆さんが考えた文章となっています。

今回パソコン愛好会の皆さんに読み手になっていただき、放課後子ども教室に通う子どもたちと一緒に披露していただきました。参加者は初めて行う天栄かるたに興味津々で、元気に笑顔で楽しそうに取り組んでいました。



このかるたは今後、各小学校に配布し子どもたちの郷土学習に役立てていきたいと思います。

○親子でアイシングクッキーづくり体験

6月8日（日）生涯学習センターにおいて、第1回目となる親子体験教室を開催しました。これは子どもたちに、より豊かな感性を身につけることや親子同士の交流を目的としており、今回は、講師に鏡石町でアイシングクッキー専門店を経営する金沢倫美さんをお招きし、アイシングクッキーづくりを体験しました。



参加した子どもたちは、思うように線が描けず親に手伝ってもらったり苦労していましたが、徐々にコツをつかむと、子どもも親も真剣な眼差しで取り組み、表情豊かな個性あふれる猫のクッキーがたくさん完成しました。完成後は、参加者同士でお互いの作品を見比べたり談笑したり、手作りの楽しさと成し遂げることの喜びを実感した貴重な時間となりました。